

活動報告書

2024年10月 市川素

今年度最後の養蚕が終了しました。少し悔いの残る結果になりました。

今月の主な活動

今年度最後にあたる晩晩秋蚕が終了しました。結果は2箱(6万頭)で85kg。もう少し取れると思っていたのですが、残念な結果です。結局よかったのは春蚕だけで右肩がりのシーズンになってしまいました。特に夏の暑い時期は顕著に箱収が下がっており、暑さ対策が今後の課題として残りました。



それにしても養蚕のシーズンが始まると日々があっという間に過ぎてしまいます。夏のシーズンの蚕が上手に飼えなかった、もっと養蚕業の進展につながるような新しいことに挑戦したかった等、色々と後悔はあるのですが、ひとまず無事5回の蚕期で繭を出荷できたことをうれしく思います。また、農家や農協、市役所、市民の皆様をサポートや応援に心から感謝申し上げます。特に今年度は生活の中で、「お蚕やってるんだね」「頑張ってるね」という声をかけていただく機会が多くあり、それが大きな励みになりました。本当にありがとうございました。



養蚕業を取り巻く環境は相変わらず厳しく、農家数の減少や蚕種、製糸会社等の関連産業も難しい状況にあると言わざるを得ません。伝統あるこの産業を未来につないでいくためにも、今後とも少しでも養蚕業に興味を持ち、関心を寄せていただけたら幸いです。引き続き何卒よろしく申し上げます。

そして冬のシーズンの到来です。早速来年度用の下仁田ネギの種をまきました。長い管理作業になりますが、頑張りたいと思います。



○ご紹介

Facebook の富岡市地域おこし協力隊のページでも養蚕日誌として日々の活動を投稿していますので是非ご覧ください。

(<https://www.facebook.com/tomiokashi.chiikiokoshi>)

(*本記事の記載内容は全て私見によるものであり富岡市の公式見解ではありません)